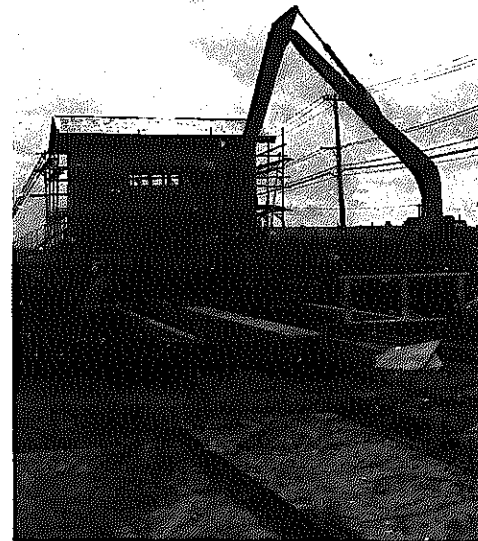


生活環境

主な事業と予算額

○準幹線排水路、市街地側溝整備	3,848
○道路舗装改良、排水路等整備	12,436
○交通安全施設等整備(歩道整備等)	1,250
○菱潟新田田尾線道路改良整備	2,250
○小蔵子白蓮線道路改良整備	5,450
○古川下八枚線道路改良整備	3,000
○ほ場関連農道整備事業負担金	7,033
○県営地盤沈下対策事業負担金	7,632
○土地改良施設維持管理適正化事業	2,484
○大外環状道路整備推進協議会負担金	293
○国営信濃川下流水利事業負担金	2,256
○白根総合公園テニスコート建設	21,000



道路整備に全力

市民生活の向上と都市の活性化のため、躍進する市の動脈として、今年度も引き続き道路整備に全力を注ぎます。

▽国道 都市計画道路として計画決定した国道8号の四車線化。今後も引き続き関係者の皆さんの理解と協力をいただき、関係機関と連携を取りながら事業促進に努力していきます。

▽県道 新津白根線が四月一日から国道に昇格。同路線に関連する主要事業の白井バイパスは、五月に部分開通を予定しています。また、諏訪木バイパスは、未整備区間の早期事業化に向け努力します。

白井橋等橋りよう整備事業、歩道の新設、道路改良など継続して実施している各種県営事業の促進と早期完了に努めます。

新潟市に隣接する市町村を結ぶ、新潟地域大外環状道路整備を推進します。法線決定の調査などの負担金を計上しました。▽市道 県道白井バイパスの部分開通に併せ、小蔵子白蓮線の改良整備を中山地内まで延長して行います。

交通安全施設整備事業は、上木山次郎右工門線の上木山から田尾までの歩道整備に着手します。また、菱潟新田田尾線の牛崎地内の改良整備、古川下八枚

線の下八枚地内の改良整備を継続事業として推進します。▽都市計画道路 都市計画道路「大通ニュータウン線」の事業推進を図るため、負担金を計上しました。

幹線用水路を改修

農業用排水対策、治水対策、排水対策を促進します。

農業用水施設の整備は、四月から大島頭首工からの取水が一部開始されることから、東用水路、西用水路、中用水路などの幹線用水路改修を土地改良区と連携して進めます。農業排水施設についても、関係機関と協議し排水改良事業の促進に努めます。

河川整備事業は、第八次治水事業五カ年計画に基づき、国県で事業が進められています。信濃川堤防低部対策事業や中ノ口川改修事業の促進に努めます。

住宅地周辺の排水路の整備は、ほとんどが農業用排水施設を利用しています。土地改良施設維持管理適正化事業などの制度を活用し整備促進を図ります。

下水道整備を推進

下水道事業は、三年度に作成した下水道基本構想をより具体的にするため、検討委員会を昨年十月に発足。今後は、検討委

員会の結果を踏まえ、住民の合意が得られる計画を推進します。雨水などの排水対策のため幹線整備を完了した都市下水路。この完成により、白根地区町部の排水は大幅に改善されました。今後も、幹線に接続する準幹線の整備を引き続き進めます。

テニスコートを建設

公園整備事業として、白根総合公園にテニスコート六面を建設します。コート面は砂入り人工芝の全天候型。ナイター設備も設置します。また、旧白根用水路敷地の有効利用を図るため、緑地遊歩道の整備を継続事業で進めます。

交通安全対策と火災予防を徹底

交通安全対策は、「交通安全宣言市」としての自覚を新たに、交通環境の変化に対応した安全施設整備、安全思想の普及を図ります。車社会の進展を考え、関係機関・団体と連携し、交通安全の徹底を呼び掛けます。火災予防を徹底し、火災発生数の減少に努めます。今年度も引き続き消防機械器具の整備計画に基づき、小型動力ポンプの更新、ポンプ舎の改築、消防水利施設の整備を進めます。

福祉・保健



主な事業と予算額

○デイサービスセンター運営管理委託	2,730
○緊急通報装置設置事業(委託)	259
○老人ホームヘルパーの派遣(委託)	1,982
○特別養護老人ホーム建設事業負担金	2,382
○身体障害者療護施設建設事業負担金	946
○老人福祉センター運営費補助	1,800
○あけぼの作業所開設(委託)	279
○成人病予防対策事業	4,558
○伝染病予防対策事業	1,991
○健康づくり推進事業	214
○社会福祉協議会補助	556

福祉

長い高齢期を健康に過ごすために、また体が不自由になつたときも住み慣れた地域で安心して暮らせるような条件と、地域環境を整備することが課題となっています。多様な福祉へのニーズに対応し、国・県の福祉施策と協調しながら、本市の実状に合わせた施策を推進します。

高齢者福祉を充実

高齢者福祉の充実のため、在宅福祉サービスの向上に努めます。介護が必要な老人の健康福祉の充実のため、ホームヘルパーの訪問活動事業に力を入れます。デイサービスセンター早月園は、事業実施体制を整備し一層の活用を促進。また、自宅で寝たきり老人などを介護している人の負担を軽減するため、短期入所事業の充実を図ります。

延長保育に配慮

婦人の社会参加意欲の増大などにより、乳幼児保育に対する期待は高まっています。就学前教育の普及や、労働形態の多様化に対応した延長保育などに配慮します。保育環境の整備を図り、児童の健全育成と福祉の向

保健

上に努めます。ひとり親家庭などの保健と福祉の向上を図るため、医療費助成事業を継続的に実施し、相談体制の整備を進めます。

健康は市民共通の願いです。健康で暮らせる長寿社会の実現に向けて、努力をしていかなければなりません。「自分たちの健康は、自分たちで守る」という自覚と認識を新たにし、保健婦を一人増員し、市保健医療計画に基づいた事業を展開します。

健康管理体制を拡充

市民の疾病予防、健康の保持増進を図るため、母子から老人に至る各期間の健康管理体制を拡充します。健康相談、健康教育の一層の充実と、個別の健康管理を強化するなどして、市民一人ひとりの健康への関心を高め、保健・医療・福祉の総合的な体制づくりを目指します。

健康都市実現に向けて、住民と行政、医師会・歯科医師会・保健所などの関係機関が一体となって、健康づくりを推進します。特に、地域保健組織の取り組みが大きな成果を上げていることから、地域の保健活動がさ

らに前進するよう、組織の育成強化に努めます。

大腸がん検診を実施

成人病予防対策の充実を進めます。今年度は新たに大腸がん検診を、従来の検診に加え実施します。

母子健康保健では、乳幼児から就学児までの母子保健情報について一貫管理体制の確立に努め、健康に問題のある母子の個人指導を徹底します。さらに、歯科保健対策を強化します。精神保健対策では、精神障害者の自立と社会復帰に向け、昨年保健センター内に通所作業所「あけぼの」を開設。今年度は、運営を家族会に委託し、事業内容の充実を図ります。

環境衛生

ごみ処理施設の拡充を進めます。白根衛生センター組合では、ごみ処理施設を三年度から四カ年継続事業で建設。この建設に伴う特別負担金を通常負担金に併せて予算計上しました。公害のない快適な環境づくりを進めます。環境衛生協会の協力を得ながら、騒音、振動、悪臭などの監視体制を強化し、これらの防止に努めます。